

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	クールチョイス推進事業									
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也		
会計情報	事業コード	540709	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 環境保全費	会計	01 一般会計 決算付属資料 158 頁
施策体系	施策コード	040501	施策名	環境を大切に生活・事業活動を推進する						
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	福知山市再生可能エネルギープラン、福知山市環境基本計画				
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、福知山市家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金交付要綱、福知山市雨水貯留槽設置補助金交付要綱									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	SDGsやエシカル消費等の動きに応じ、地球温暖化等の気候変動対策として市内の再エネ・省エネ導入を進めるとともに、地域内でエネルギーと経済の循環を図ることで、様々な地域課題の解決につなげ、持続可能で豊かな地域を実現する。									
対象者	全市民	対象者数	79,471	単位あたりコスト	0.2					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	市民、事業所、金融機関、龍谷大学等									

事業概要 (箇条書き)	・再エネ活用プラン及び事業化検討会議の提言を基本的スタンスとして、地域貢献型再エネ協定に基づく事業を進める。 ・各家庭でのエネルギーの自給自足を促進するため、再エネ・省エネ設備導入に対し、予算の範囲内で補助金を支給する。 ○家庭向け自立型再エネ補助 次の①と②の合計額(上限:補助対象経費の1/2以内) ①太陽光公称最大出力1kW当たり1万円(上限4万円) ②蓄電池蓄電容量1kWh当たり3万円(上限18万円)に1万円加算 ○雨水貯留槽設置費補助 雨水貯留槽購入費の3/4(限度額4万円) ・福知山市クールチョイス宣言に基づく各種啓発を実施する。 ・CO2ポテンシャル診断調査を実施する。								
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	6,269	クールチョイス啓発、CO2削減ポテンシャル診断等						
	負担金補助及び交付金	3,408	再エネ補助 15件 3,298千円、雨水補助 4件 110千円						
	役員費	130	掲載広告、新聞折込						
	旅費	53	普通旅費						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	10,280	11,293	6,653	14,289				
	② 補正予算	△ 6,000	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	4,280	11,293	6,653	14,289					
予算財源内訳	① 一般財源	680	716	1,153	0				
	② 国支出金	0	7,077	0	0				
	③ 府支出金	3,600	3,500	3,500	3,500				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	4,280	11,293	0	0				
	③ 執行額	3,508	9,861	0	0				
	④ 執行率	82.0%	87.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.86/0	0.80 / 0.00	0.80 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	6,880	6,400	6,400	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,388	16,261	6,400						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	CO2排出抑制対策事業費等補助金	種類	衛生費国庫補助金	実績金額	4,239	決算付属資料	18	頁
	特財名称	CO2削減ポテンシャル診断推進事業補助金	種類	衛生費国庫補助金	実績金額	1,962	決算付属資料	18	頁
	特財名称	家庭向け自立型再エネ事業補助金	種類	衛生費府補助金	実績金額	3,148	決算付属資料	26	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	再エネ自給率	%	0	3.6(未確定のため直近数値)	3.6(直近数値) / 3.8	/	4	6.40%
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	家庭向け再エネ補助件数	件	0	10/10	15 / 20	/	15	累計50
	単位あたりコスト		0.00	350.80	657.39			
	雨水補助件数	件	0	5/20	4 / 20	/	15	累計50
	単位あたりコスト			701.60	2465.21			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<p>パリ協定の発効やSDGsなど国際的に持続可能な発展に向けた取り組みが進む中、本市もこの取り組みを強化するため、平成31年4月23日に「福知山市クールチョイス宣言」を行った。近年の度重なる浸水被害等、市内でも気候変動の影響が生じ、その原因となる化石燃料の使用により域外に約200億円もの資金が流出している現状があり、市が率先して市民や事業者をはじめとするステークホルダーに呼びかけることで、地域全体が理解を深め、一体となってエネルギーと経済の地域内循環に取り組みるよう推進した。</p>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<p>事業の実施に当たっては、関係団体や民間事業者等との協働や、国や府の補助金を最大限活用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭向け自立型再エネ補助…府補助 雨水貯留槽設置費補助…府補助 クールチョイス推進…環境省補助 CO2ポテンシャル診断調査…環境省補助
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	<p>環境省や龍谷大学、京都大学、地球温暖化防止活動推進センター等の研究調査結果及び先進事例を十分活用し、地域貢献型再エネ協定に基づく事業を推進している。成果実績であるエネルギー自給率は年々上昇しており、最終目標に近づいている。しかし、電力自由化等により、近年、自給率の把握が困難になってきている。</p>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> H30年度から「地球温暖化対策再エネ・省エネ推進事業」と「災害対策再エネ・省エネ推進事業」と統合し、新たに「再エネ・省エネ事業」として実施。環境政策室の環境・再生エネルギー係を廃止し、産業観光課の産業・エネルギー係(旧産業振興係)へ移管。従事する人員削減を図った。 H30年度は、再エネの事業化を図るため、龍谷大学等5者で地域貢献型再エネ協定を締結した。 R1年度は、福知山市クールチョイス宣言を行い、地域全体を巻き込んだ「環境・経済・社会」の域内好循環の取り組みを開始。温暖化やエネルギー、経済の各種課題の共通認識と解決方法の啓発に努めた。(地域公共交通の利用促進や、省エネルギーの普及促進、再生可能エネルギーの普及促進、エコ防災の推進、地球温暖化対策を担う人材の育成など、脱炭素社会に貢献できる行動、サービス、商品などを賢く選ぶ「クールチョイス(賢い選択)」を地域全体で共有。小学生向けオリジナル教材も作成し配布) 成果実績であるエネルギー自給率は年々上昇しており、最終目標に近づいている。しかし、電力自由化等により、自給率の把握が困難になっている。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>環境省の地域経済循環分析(2013年)によれば、福知山市域のGDP約3300億円のうち、約200億円がエネルギー代金として域外に流出している。この代金を域内でつくった再生可能エネルギーや、エネルギーの消費を減らす省エネ設備に切り替えることができれば、費用を域内に留めて循環させることができ、地域経済の活性化につなげることが可能になる。</p> <p>今後はSDGsの「つくる責任 つかう責任」についての取り組みにおいて、クールチョイスやエシカル消費といった「つかう側」だけに訴求するのではなく、「つくる側」への働きかけも進め、エネルギーの地産地消による地域経済付加価値の向上を図るとともに、持続可能な脱炭素型の社会を次代を担う子ども達に示す取り組みも行い、専門機関の研究調査結果及び先進事例を十分活用しながら、国・府をはじめ、教育機関・金融機関等と連携して、地域貢献型再エネ協定に基づく事業に取り組む。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	<h1>事務事業評価後に記入</h1>

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し	RE100、EP100、EV100、ゼロカーボンに向けてさらに事業を拡充していく必要がある。温暖化防止実行計画(区域施策編)の策定を目指す等、地域と一体となった取り組みを強化していく。
	<input type="checkbox"/> 統合/組換	
	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	
	<input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)